

「地理A」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校

教諭 竹中 和史

1. 日時 平成25年10月25日(金) 第3限目
2. 場所 3年3組教室
3. 学年 3年体育系列(7名)
4. 生徒観 本系列の生徒は、授業に対して積極的に発言する生徒が多く、課題に対しても前向きに取り組む。グループ学習よりも個々で考え、発表する方が得意な生徒が多い。
5. 単元 北アメリカの生活・文化と環境
6. 単元目標 北アメリカの地形的・気候的自然環境及び産業の特色について理解させる。また、アメリカ合衆国発展の経緯と、それに伴う多民族国家としての特徴や文化について理解させる。
7. 本時の目標 アメリカの産業と生活について大きな流れに触れ、考える。
8. 本時の創意工夫(5観点)
 - ① 本時の学習内容を示す。
 - ② PPを用い、視覚的効果を活用する。
 - ③ ペア学習の機会を設ける。
 - ④ (1)アメリカの産業が日本に与える影響について考える。(2)生活とスポーツの関係性について考える。
 - ⑤ 開始、終了時の挨拶を規律あるものとする。

9. 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点*支援	学習形態	創意工夫
導入	・本時のテーマを確認	・本時の学習内容を確認する。	・本時のテーマを板書する。	一斉	①
展開	・アメリカ合衆国の産業の特徴を理解する。	・日本の食文化がアメリカの影響を受けていることを理解する。	・農業大国の一面を、主な農産物の生産量(資料)から読み取らせる。	個人	②④
	・生活とスポーツの関係について考える。	・食以外に、日本はIT産業の影響を受けていることを確認する。 ・生活とスポーツの関係について考える。	・どうもろこしについて説明する。 ・次回の授業への導入としての位置づけ。 ・スポーツと生活に関する資料を提示する。 ・フランチャイズ制について触れる。	個人 ↓ ペア学習	
	・GDPとGNHを比較し、生活について考える。	・GDPとGNHについて理解し、幸福度について考える。	・生徒発表 ・GDP、GNHのランキング表を提示する。 ・物質的に恵まれている事が必ずしも幸せに繋がることではないことを知ってもらう。 (色々な見方がある事を知ってもらう程度)	個人	②
まとめ	まとめ	本時の授業を振り返り、記録する。	・机間指導	個人	⑤